

2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月9日

上場会社名 株式会社スタメン
 コード番号 4019 URL <https://stmn.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員CEO (氏名) 大西 泰平
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員CAO (氏名) 中谷 奈緒美 TEL 052 (990) 2470
 半期報告書提出予定日 2024年8月9日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 中間純利益 | |
|--------------|-------|------|------|-------|------|-------|---------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年12月期中間期 | 1,230 | 41.7 | 8 | △88.2 | 9 | △86.9 | △19 | — |
| 2023年12月期中間期 | 868 | — | 73 | — | 72 | — | 56 | — |

(注) 包括利益 2024年12月期中間期 △19百万円 (—%) 2023年12月期中間期 56百万円 (—%)

| | 1株当たり 中間純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益 |
|--------------|----------------|---------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年12月期中間期 | △2.30 | — |
| 2023年12月期中間期 | 6.71 | 6.52 |

(注) 1. 2022年12月期連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、2023年12月期中間期の対前年中間期増減率については記載しておりません。
 2. 2024年12月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり中間純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|--------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2024年12月期中間期 | 1,868 | 1,173 | 60.7 |
| 2023年12月期 | 1,838 | 1,215 | 64.5 |

(参考) 自己資本 2024年12月期中間期 1,134百万円 2023年12月期 1,185百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年12月期 | — | 0.00 | — | 4.00 | 4.00 |
| 2024年12月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 2024年12月期（予想） | — | — | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|------|------|-------|------|-------|---------------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 2,485 | 32.3 | 29 | △82.2 | 28 | △82.5 | 2 | △98.4 | 0.23 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|--------------|------------|--------------|------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2024年12月期中間期 | 8,689,000株 | 2023年12月期 | 8,671,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 2024年12月期中間期 | 61株 | 2023年12月期 | 24株 |
| ③ 期中平均株式数(中間期) | 2024年12月期中間期 | 8,687,315株 | 2023年12月期中間期 | 8,566,976株 |

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------------|---|
| 1. 当中間決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 中間連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 中間連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 | 5 |
| 中間連結損益計算書 | |
| 中間連結会計期間 | 5 |
| 中間連結包括利益計算書 | |
| 中間連結会計期間 | 6 |
| (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 | 7 |
| (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 8 |
| (セグメント情報等の注記) | 8 |

1. 当中間決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当社グループは、「一人でも多くの人に、感動を届け、幸せを広める。」という当社の経営理念をグループビジョンとして、世の中に良い影響力を与えるサービスを、「期待を超える＝感動」のエッセンスに徹底してこだわり、提供していくことを企業のミッションとしております。

主要サービスであるエンゲージメント経営プラットフォーム「TUNAG（ツナグ）」及びコミュニティ運営プラットフォーム「FANTS（ファンツ）」を事業軸として事業拡大を進め、創業事業であるエンゲージメント経営プラットフォーム「TUNAG」を通じて得た知見を活かし、100%子会社である「株式会社STAGE」を2021年に設立し、エンゲージメント経営を人材採用の視点から支援する新しい人材紹介事業の運営を開始しております。また、意思決定の迅速化のため、100%子会社である「株式会社スタジアム」を2023年1月に設立し、「FANTS」の更なる事業展開を進めております。2023年2月にはクラウドセキュリティサービス「漏洩チェッカー」の提供を開始しました。

当社グループが従業員エンゲージメント事業として提供している「TUNAG」及びコミュニティエンゲージメント事業として提供している「FANTS」ともに、成長性の高い市場を領域に属していると認識しております。「TUNAG」につきましては、テクノロジーの進化や働き方に対する価値観の変化が急激に進むこの時代に、事業や会社の長期的な成長を左右するのは「人と組織」の強さと捉えて、企業と従業員、そして従業員同士の相互信頼関係であるエンゲージメントの高い会社作りを推進するサービスを展開しております。生産年齢人口の減少が続き、人材定着や離職改善への意識は今後一層高まっていくことが予想され、最近のHR Techの展示会でエンゲージメントにフォーカスしたサービスが取り扱われ、また、エンゲージメント関連の書籍の出版も増えております。「FANTS」につきましても、SNSの発達によって個人による情報発信の機会が広がる中で、オンラインサロン市場が拡大しております。サロンの開設者としても著名人からSNS上でフォロワーが多い一般人等に広がり、利用者としても若年層・ネットユーザーを中心に認知度を高めております。その中で、当社グループは、「企業向けのエンゲージメント市場」と「コミュニティ向けのエンゲージメント市場」の2つのエンゲージメント領域で、企業向け、コミュニティ向けの異なる市場を開拓することで、グループで培ったノウハウを活かし、多面的な収益拡大を図ってまいります。

このような結果、当中間連結会計期間の経営成績は売上高1,230,149千円（前年同期比41.7%増）、営業利益8,657千円（前年同期比88.2%減）、経常利益9,429千円（前年同期比86.9%減）、親会社株主に帰属する中間純損失19,982千円（前年同期は親会社株主に帰属する中間純利益56,805千円）となりました。

当社グループは、エンゲージメントプラットフォーム事業を主な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、セグメント別の記載は省略しております。そのため、当中間連結会計期間における実績を事業部門別に記載しております。事業部門別の概況は次のとおりであります。

（従業員エンゲージメント事業「TUNAG（ツナグ）」）

従業員エンゲージメント事業は、Webマーケティングの強化やWeb商談の活用により、潜在的な需要へのアプローチに注力してきました。加えて、利用企業向けのオンラインイベントの開催など利用企業の支援（カスタマーサクセス）の強化、タクシー広告などのプロモーション活動にも取り組んでおります。その結果、エンゲージメント経営プラットフォーム「TUNAG」は堅調に成長を続け、2024年6月末時点での利用企業数は888社（前年同期比237社増）、平均MRRは193千円（前年同期比8千円増）となりました。

（コミュニティエンゲージメント事業「FANTS（ファンツ）」）

コミュニティエンゲージメント事業は、「TUNAG」が保有する組織運営・組織活性化に有用な多数の機能をコミュニティ運営向けに拡張・再構築し、2020年5月よりコミュニティ運営プラットフォーム「FANTS」の提供を開始しました。運営コミュニティの精査と戦略変更を実施し、運営コミュニティ件数は一時減少したものの、売上高の成長性は上昇基調に回帰しています。その結果、コミュニティ運営プラットフォーム「FANTS」の2024年6月末時点での運営コミュニティ数は151件（前年同期比21社増）、平均MRRは85千円（前年同期比10千円減）となりました。

（人材紹介事業「STAGE（ステージ）」）

人材紹介事業は、エンゲージメント経営を人材採用の視点から支援する新しい人材紹介事業として2022年4月から本格的に事業を開始しました。当中間連結会計期間においては、市場開拓や知名度向上のための成長投資コストが先行して発生している状況ではありますが、事業計画達成に向け着実に市場規模を広げていっております。

（注）平均MRR：対象月末時点における月額利用料の合計を利用企業数、運営コミュニティ件数で除した金額です。一時的な売上高は含みません。

（2）財政状態に関する説明

①財政状態の分析

（資産）

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ29,827千円増加し、1,868,094千円となりました。これは、主にその他の流動資産が64,622千円減少した一方で、現金及び預金が66,041千円、有形固定資産が17,600千円増加したことによるものであります。

（負債）

当中間連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ71,405千円増加し、694,126千円となりました。これは、主にその他の流動負債が31,754千円減少した一方で、契約負債が44,083千円、未払法人税等が25,148千円増加したことによるものであります。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ41,577千円減少し、1,173,968千円となりました。これは、主に新株予約権が9,512千円増加した一方で、親会社株主に帰属する中間純損失の計上19,982千円と、剰余金の配当の支払い34,683千円により、利益剰余金が54,666千円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ66,041千円増加し、1,109,718千円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は136,136千円となりました。これは主に、その他の増加額47,202千円及び契約負債の増加額44,083千円、未払消費税等の減少額30,596千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は33,488千円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出24,602千円及び投資有価証券の取得による支出12,500千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は36,607千円となりました。これは主に、配当金の支払額による支出31,855千円及び長期借入金の返済による支出8,328千円、ストック・オプションの行使による収入3,600千円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2024年2月14日の「2023年12月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2023年12月31日) | 当中間連結会計期間 (2024年6月30日) |
|--------------|--------------------------|---------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,393,677 | 1,459,718 |
| 売掛金 | 34,596 | 38,848 |
| 商品 | 3,441 | 3,088 |
| その他 | 154,398 | 89,775 |
| 流動資産合計 | 1,586,113 | 1,591,431 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 119,653 | 129,028 |
| その他（純額） | 14,912 | 23,136 |
| 有形固定資産合計 | 134,565 | 152,165 |
| 無形固定資産 | | |
| | 17,034 | 15,057 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 102,537 | 111,841 |
| 貸倒引当金 | △1,984 | △2,400 |
| 投資その他の資産合計 | 100,553 | 109,440 |
| 固定資産合計 | 252,153 | 276,663 |
| 資産合計 | 1,838,267 | 1,868,094 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 未払金 | 77,009 | 89,599 |
| 未払費用 | 100,122 | 124,108 |
| 契約負債 | 295,769 | 339,853 |
| 未払法人税等 | 4,393 | 29,541 |
| その他 | 96,873 | 65,118 |
| 流動負債合計 | 574,168 | 648,222 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 18,358 | 10,010 |
| 資産除去債務 | 22,178 | 27,878 |
| その他 | 8,016 | 8,016 |
| 固定負債合計 | 48,552 | 45,904 |
| 負債合計 | 622,721 | 694,126 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 71,500 | 73,300 |
| 資本剰余金 | 1,000,959 | 1,002,759 |
| 利益剰余金 | 112,681 | 58,014 |
| 自己株式 | △35 | △59 |
| 株主資本合計 | 1,185,106 | 1,134,015 |
| 新株予約権 | 30,439 | 39,952 |
| 純資産合計 | 1,215,545 | 1,173,968 |
| 負債純資産合計 | 1,838,267 | 1,868,094 |

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
 (中間連結損益計算書)
 (中間連結会計期間)

(単位：千円)

| | 前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日) | 当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日) |
|---|--|--|
| 売上高 | 868,120 | 1,230,149 |
| 売上原価 | 193,618 | 285,396 |
| 売上総利益 | 674,502 | 944,752 |
| 販売費及び一般管理費 | 601,138 | 936,094 |
| 営業利益 | 73,363 | 8,657 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 3 | 5 |
| 助成金収入 | 75 | — |
| ポイント還元収入 | 645 | 1,848 |
| その他 | 101 | 717 |
| 営業外収益合計 | 825 | 2,571 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 180 | 126 |
| 固定資産除却損 | 1,943 | — |
| 投資事業組合運用損 | — | 910 |
| 解約違約金 | — | 662 |
| その他 | 0 | 100 |
| 営業外費用合計 | 2,123 | 1,799 |
| 経常利益 | 72,065 | 9,429 |
| 税金等調整前中間純利益 | 72,065 | 9,429 |
| 法人税等 | 15,259 | 29,412 |
| 中間純利益又は中間純損失(△) | 56,805 | △19,982 |
| 親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に 帰属する中間純損失(△) | 56,805 | △19,982 |

(中間連結包括利益計算書)
(中間連結会計期間)

(単位：千円)

| | 前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日) | 当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日) |
|------------------|--|--|
| 中間純利益又は中間純損失 (△) | 56,805 | △19,982 |
| 中間包括利益 | 56,805 | △19,982 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る中間包括利益 | 56,805 | △19,982 |

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日) | 当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前中間純利益 | 72,065 | 9,429 |
| 減価償却費 | 12,694 | 14,648 |
| 株式報酬費用 | 6,804 | 9,512 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △1,591 | 416 |
| ポイント引当金の増減額(△は減少) | 162 | 77 |
| 資産除去債務履行差額 | △1,712 | — |
| 受取利息 | △3 | △5 |
| 支払利息 | 180 | 126 |
| 投資事業組合運用損 | — | 910 |
| 固定資産除却損 | 1,943 | — |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 1,045 | △4,668 |
| 棚卸資産の増減額(△は増加) | 80 | 352 |
| 未払金の増減額(△は減少) | 28,080 | 12,589 |
| 未払費用の増減額(△は減少) | 11,479 | 23,985 |
| 契約負債の増減額(△は減少) | 4,771 | 44,083 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | 7,658 | △30,596 |
| その他 | 442 | 47,202 |
| 小計 | 144,101 | 128,065 |
| 利息及び配当金の受取額 | 6 | 6 |
| 利息の支払額 | △191 | △126 |
| 法人税等の支払額又は還付額(△は支払) | △29,609 | 8,191 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 114,306 | 136,136 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 子会社株式の取得による支出 | △20,000 | — |
| 投資有価証券の取得による支出 | — | △12,500 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △7,255 | △24,602 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △3,435 | — |
| 差入保証金の差入による支出 | △528 | — |
| 差入保証金の回収による収入 | 5,412 | 3,613 |
| 資産除去債務の履行による支出 | △590 | — |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △26,396 | △33,488 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 長期借入金の返済による支出 | △5,831 | △8,328 |
| 配当金の支払額 | — | △31,855 |
| ストックオプションの行使による収入 | 22,200 | 3,600 |
| 自己株式の取得による支出 | — | △23 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 16,369 | △36,607 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 104,278 | 66,041 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 834,381 | 1,043,677 |
| 現金及び現金同等物の中間期末残高 | 938,659 | 1,109,718 |

（4）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

I 前中間連結会計期間（自2023年1月1日 至2023年6月30日）

当社は、2023年5月12日に資本金の額の減少及び剰余金の処分（欠損填補）を行いました。これにより、資本金が560,400千円減少し、資本剰余金が560,400千円増加しました。また、増加した資本剰余金のうち131,340千円を繰越利益剰余金に振り替えることで、欠損填補に充当しております。

また、新株予約権の行使により、当中間連結会計期間において資本金が5,100千円、資本剰余金が5,100千円増加しております。

II 当中間連結会計期間（自2024年1月1日 至2024年6月30日）

該当事項はありません。

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を用いて計算しております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間（自 2023年1月1日 至 2023年6月30日）

当社グループは、エンゲージメントプラットフォーム事業を主な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当中間連結会計期間（自 2024年1月1日 至 2024年6月30日）

当社グループは、エンゲージメントプラットフォーム事業を主な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。